



2025 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 ドリームベッド株式会社
代表者名 代表取締役社長 三宅 弘人
 (コード：7791、東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 小尻 泰史
 (TEL. 082-271-4201)

2026 年 3 月期第 2 四半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025 年 5 月 9 日に公表いたしました 2026 年 3 月期（2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日）の第 2 四半期業績予想と本日発表いたしました実績値との差異につきまして、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期第 2 四半期業績予想値と実績値との差異（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）

	売 上 高 (百 万 円)	営 業 利 益 (百 万 円)	経 常 利 益 (百 万 円)	中 間 純 利 益 (百 万 円)	1 株 当 たり 中 間 純 利 益 (円 銭)
前 回 発 表 予 想 (A)	5,650	230	210	145	35.40
実 績 値 (B)	5,620	347	332	221	54.09
増 減 額 (B - A)	△30	117	122	76	—
増 減 率 (%)	△0.5	50.9	58.1	52.4	—
(参 考) 前 期 実 績 (2025 年 3 月期 第 2 四 半 期)	5,379	290	278	185	45.54

2. 差異の理由

売上高につきましては、インバウンド需要の増加による商業施設（ホテル）向けマットレスの受注や、当社直営ショップにおけるデザイナー企画のソファの販売が堅調に推移した結果、ほぼ業績予想どおりの水準となりました。

一方で利益面につきましては、新ブランド「KING KOIL（キングコイル）」拡販のためのプロモーション費用のほか、修繕工事に関する費用等、当初第 2 四半期に見込んでいた経費支出の一部が下半期へずれ込んだことにより、営業利益、経常利益、中間純利益の各段階で予想を上回り、上記のとおり差異が生じました。

上半期の経費支出が第3四半期以降にずれ込むため、第3四半期単独では利益の押し下げ要因となりますが、引き続き業績は堅調に推移するなか、通期業績予想に変更はありません。

以 上